

『私たちは、県大をもっと地域に密着した大学にするために活動しています。』

今回、地域子ども達に大学について知ってもらおうと、学内探検や工作をする企画を実施しました。

(平成25年8月8日実施) 参加者は、近隣の小学生(4~6年生)32名でした。



学内探検では、先生方の協力を得て事前に各施設を見せていただき、看護実習室、栄養実習室、デザイン実習室などをルートに組み込みました。小学生たちも、日頃見ることのない大学の設備や独特の雰囲気に興味を持ってくれたようです。



特に看護棟では、実習室で聴診器などを使った体験もさせてもらい、一段と盛り上がりました！

教室から教室への移動のときは、小学生が積極的に学生と話してくれたこともあり、一気に距離が縮まりました。

ご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました！！



工作では、山口の間伐材を使った、木のモビールを作りました。今回は、山口県森林組合連合会にご協力いただき、木を円盤状にしたり、棒にしたりしてもらいました。その後、学生と手分けをして、子ども達が手を怪我しないように、木材を紙やすりで磨きました。森林組合の皆様、本当にありがとうございました！！



モビールの完成品（一例）→

用意した木材を小学生に配ると、早速絵を描いたり紐を結んだり、とても真剣に取り組んでくれました。実際に小学生にやってもらうと、私たちが試作を作った時には何とも思わなかったことが難しかったり、想像以上に時間がかかったりしました。「手伝おうか？」と言うと、嫌がる子もいましたが、学生が少しずつ誉めたりアドバイスしたりして、コミュニケーションを取りながら作業を進めることが出来ました。大学生と地域の小学生が直接触れ合うことができ、この時間は本当に有意義でした。



終了予定時刻を大幅に過ぎての解散となってしまいましたが、小学生に答えてもらったアンケートでは、ほぼ全員が「とても楽しかった」と答えてくれました。また、後日参加者の保護者の方から、お子さんがとても楽しかったといわれているというお手紙をわざわざ頂き、大変励みになりました。

小学生のみなさん、参加してくれて本当にありがとう！！

今回の企画は、学生が全員一年生だったこともあり、何から何まで初めてで戸惑うことばかりでした。先生方をはじめ、多くの方々に助けて頂き、何とかここまで来ることが出来ましたが、最後は自分たちでどうにかしなければいけないということの大変さも学びました。

普通に大学生を送っているだけでは得られないような、本当に有意義な時間を過ごせたと思います。



今回の学生メンバーです (^_^)